

先週は何十年ぶりかの大雪に見舞われました。今月初めの、あのぼかぼか陽気はなんだったのでしょうか…。現在会員登録数1,347人さま。ご愛読ありがとうございます。次号は3月20日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》ＹＯ！この本読んだ？ Yasuko's & Okiko's Talk

《2》読書活動ボランティアのためのワンポイント 42

《3》サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● イギリスの絵本作家 ローレン・チャイルド氏による

(1)国際講演会 (2)小学生向けワークショップの参加者を募集しています。

(1)国際講演会

「絵本作家ローレン・チャイルド自作を語るーあたしのなやみは無限大」

日 時：3月15日（土）午後1時～4時

会 場：大阪府立中央図書館 大会議室（東大阪市荒本）

通 訳：多田昌美（美作大学准教授）

対 象：一般、読書ボランティアの方など80名（申込先着順）

参加費：1,000円

(2)ワークショップ「絵本作家ローレン・チャイルドさんと絵本をつくろう」

日 時：3月16日（日）午後1時～3時30分

会 場：万博記念公園内 自然観察学習館（吹田市千里万博公園）

通 訳：多田昌美（美作大学准教授）

対 象：小学生30名（申込先着順）

参加費：無料 当日は、万博公園ふれあいの日で入園無料です。

◇主催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

後援：大阪府立中央図書館／大阪府子ども文庫連絡会

協賛：近畿日本鉄道株式会社／サントリーホールディングス株式会社／

パナソニック株式会社／ムサシ・アイ・テクノ株式会社／

株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート

助成：独立行政法人 日本万国博覧会記念機構

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/>

● 「ニッサン童話と絵本のグランプリ」受賞作品原画展

2012年度開催の「第29回ニッサン童話と絵本のグランプリ」絵本の部入賞作

品の原画展を開催しています。3月上旬に予定しています第30回（2013年度開催）グランプリの発表後は、新しい入賞作品の原画に展示替えします。

日 時：開催中～3月29日（土） *ただし、国際児童文学館の開館日時

場 所：大阪府立中央図書館 国際児童文学館

入場料：無料

http://www.iiclo.or.jp/07_com-con/02_nissan/index.html

● 『中川正文著作撰』が刊行されました

絵本・童話作家として教育者・研究者として、理論と実践を両輪に活躍された中川正文さん（元当財団理事長）の足跡をたどる貴重な資料。膨大な著作の中から、『ごろはちだいみょうじん』をはじめとする絵本や童話、エッセイ、児童文化論や児童文学論、絵本論などの代表作を収載しています。

書 名：中川正文著作撰—児童文学・文化を問い続けて

中川正文著作撰編集委員会/編

発 行：ミネルヴァ書房 2014年2月 A5判 608頁 6,000円＋税

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

【2】コラム

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『世界地図の下書き』 朝井リョウ/作 集英社 2013年7月

対象年齢：大人（中学生から読める）

あらすじ：突然の交通事故で両親が亡くなり、小学3年生の太輔は伯父伯母の家を経て児童養護施設で暮らすことになる。同じ生活グループには4日前に来た中学3年生の佐緒里、小1と小3の麻利、淳也兄妹、小2で母親に虐待を受けて来ている美保子がいた。3年後、6年生になった太輔たち4人の小学生は、かつて町で行われていた空にランタンを飛ばす「蛍祭り」を復活させて佐緒里を送ろうとする。

Y：今回は児童書ではなく、今人気の直木賞作家、朝井リョウの子どもが主人公の作品を取り上げることにしました。

O：なるほど、ツポにはまる作品だというのがよくわかりました。空にランタンが飛ぶ風景を子どもたちが丘の上から眺める映像的な美しい場面や、ぐっとくるフレーズが随所にあって。

Y：うまいなと思った点に、子どもたちの会話がありました。学校でいじめられている麻利が「うちな、学校も、みんなのことも、大好きなんよ」と嘘をついたり、美保子が「ミホ、まだぎりぎり、お母さんのこと好き」と言ったりするせりふに、子どもたちの気持ちが読み取れます。

O：「三年前」「晩夏」「新涼」「暮秋」「初雪」「春」という時間と季節

の章立てや、蛍祭りを復活させるために夜中に子どもたちだけで集まって飴を食べるときの食感などの細かい描写もわかりやすく、共感できるような表現でしたね。

Y：児童養護施設の子どものという設定はとても現代的であると同時に、『ハックルベリー・フィンの冒険』や『赤毛のアン』、「ハリー・ポッター」シリーズなどと同様、孤児物語の一つだということもできます。

O：私はどちらかというと時代劇の人情物を思い出しました。天涯孤独の主人公が周りの人に導かれて成長し、最後は町を見下ろすシーンで終わる。タイトルが「世界地図の下書き」で、「宇宙」ということばが多用されていますが、自分の身の回りのとても小さな世界を肯定するあまり、宇宙と繋がっているという感覚が、言葉のわりには、伝わってきませんでした。

Y：子どもたちのつらい様子を書いていても、ぶつけようのない悲しみや苦しみまではめぐりとらない。この点が物足りなさと同時に、「売れる」要素ともなっているのかもしれない。

O：おとなにネグレクトされている作品は、1970年代のアメリカで数多く刊行されましたが、ベッツィ・バイアーズ『うちへ帰ろう』（文研出版）やキャサリン・パターソン『ガラスの家族』（偕成社）を再読して、これらとの違いを考えてみたい気になりました。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 42

その7 プログラムの立て方（4）全体の構成を考える：終わり

プログラムの終わり方はさまざまですが、最も重要なことは、参加者が「楽しかった」と満足した気持ちで会場を離れることができることです。

最後に絵本で締めくくる時には、静かで落ち着いた絵本を読んでおはなし会の余韻を楽しんでもらう方法、ナンセンスやユーモアのある絵本を読んで、参加者の緊張をほぐして終わる方法、最後にメインの本を持ってきてたっぷり楽しんでもらって終わる方法などが考えられます。

一方、ろうそくを使っておはなしを語る場合は、おはなしを最後に持ってきて、ろうそくが消えた時におはなし会も終了するという手法をとっているグループもあります。

また、最後は少し盛り上がって終わろうという意図で紙芝居等を最後に演じるグループもあります。盛り上がって終わるのは構わないのですが、それまでのおはなしや絵本の楽しさを忘れるほどに盛り上がるのは、全体構成としては望ましくないと考えます。盛り上がるのがおはなし会の目的ではなく、全体を楽しめるようにプログラムを組むことが重要です。

プログラムの最後にテーマに関わる本の紹介を行うこともあります。おはなし会で読んだり語ったりできる絵本やおはなしの数は限られているので、他にもさまざまな興味深い本を紹介することは意味があると思います。特に図書館で行う場合には、おはなし会をきっかけに図書館にある本を知ってもらう機会になります。紹介はおはなし会全体の雰囲気や壊さないように、簡潔に行うことが重要です。

* 次号は「その8 おはなし会の実際(1) 始め方・終わり方・手遊び」の
予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思
います。
(Y)

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

一次資料データベース篇 22 回目。ご紹介するのは以下のサイトです。

●国文学研究資料館 近代書誌・近代画像データベース(統合検索)

<http://base1.nijl.ac.jp/~kindai/index.html>

サイトは、「近代書誌データベース」と「近代画像データベース」の二つ
から構成されています。いずれも、同館が全国の貴重書所蔵機関(個人蔵を
含む)の明治以降の資料調査を行い、それによって得られた情報をデー
タベース化したものです。前者はおもに書誌情報を、後者はその画像デー
タベースを提供しています。

特徴の一つは、詳細な書誌情報にあります。基本書誌はもちろん、サイズ
や分量、装幀(洋装・和装、袋や函の有無等)や印刷技法などを記載する
「書型データ」、序・広告・口絵・本文など、書のおもな内容と紙数を記
述する「構成」、蔵書印・蔵書票がある場合はその詳細、さらには文献
ごとに目次情報を記載するなど、その書にかかるあらゆる情報を補記
しています。文献の書誌学的情報を重視する国文学研究資料館なら
ではのデータベースといえます。

明治初期、福沢諭吉が幼童婦女のために書いた地理啓蒙書である『
世界国尽』、大日本教育会が懸賞募集した少年読み物の入選作である
『少年之玉』、また若松賤子の名訳『小公子』から押川春浪の一連の
軍事冒険探検小説まで、実に幅広いラインナップです。

現在の登録データ数は、書誌約 36,940 件、画像約 4,100 件。公開
準備中もあり、順次増加していく予定だそうです。書によって画像の
公開が限定的なものもありますが、今後は近代デジタルライブラリー
(国立国会図書館)など、他の画像データベースとの横断検索なども
期待されます。(J)

※次号は、一次資料データベース篇(その 23)の予定です。

《4》 行って来ました!

大阪府堺市泉ヶ丘駅近くにある府立大型児童館ビッグバンで開催
されている「薮内正幸さんの動物たち展」に行ってきました。

大阪での原画展は、薮内さんが 2000 年に亡くなられて以来初めて
だそうです。動物画約 50 点が展示されています。『冒険者たち』
(斎藤惇夫/作 岩波書店 1982 年)のシリーズの表紙の原画、
15~17 歳頃の自作の図鑑や模写、『どうぶつのおかあさん』
(小森厚/文 福音館書店 1981 年)の原画、図鑑や絵本
の中から野鳥や動物の絵、動物園に掲示されるライオンの解説、
カレンダー

のための野鳥の原画など、主な作品を少しずつ見ることができます。

鳥の羽や、動物の毛並みなど細かく描かれていて、瞳は生きているようです。手に取って読むことができる絵本のコーナーも用意されていました。

展示スペースはそんなに広くありませんが、ビッグバン4階に再現されている昭和30年代の街並みや、たくさん子どもたちが遊具で楽しんでいる横で、小さな動物園のようにも思えます。備え付けてあったパンフレットの、山梨県にある数内正幸美術館に行ってみたくなりました。(K)

【3】全国のイベント紹介

● JBBY国際講演会 国境を越える作家たち(1) モンゴル
「ポロルマーさんの絵本づくりとアジアの子どもの本フェスティバル」
講 師：バーサンスレン・ポロルマー(モンゴル、絵本作家)

児島なおみ(絵本作家)

聞き手：細江幸世(フリー編集者)

日 時：3月8日(土)午後2時～

場 所：日本青年館 503 会議室(東京都新宿区霞ヶ丘)

参加費：1,000 円

定 員：80 人 申込み：必要

主 催：一般社団法人 日本国際児童図書評議会

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「YO!この本読んだ?」で紹介しました『世界地図の下書き』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO.42プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想 をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。締切は3月10日(月)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

「よモノん」流行りのゆるキャラではありません。大阪モノレール公園東口駅構内にある絵本コーナーのことです。先日、万博公園の広報紙で紹介されました。列車待ちの一時を楽しくふれあいの場にと、5年前に当財団とモノレール会社が共同設置したもので、絵本約400冊とソファなどがあります。当時、公園内にあった国際児童文学館に託した多くの方々の思いが、今も確かにここにはある、そんな気がして今も通っています…。(A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまで
お願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
